



# 2023.6 Tristan Honsinger

写真:村井勇

## おと、からだ、ことば —— 即興のざわめき

トリストン・ホンジンガー in 新潟

共演:鈴木正美・西橋八郎兵衛・西村優輝・羽生英一・堀川久子

2003年~2009年、踊りの

堀川久子と共に、新潟の様々な地で  
公演したトリストン・ホンジンガー。

自在に発声し、演じ、奏でる

チェロの詩人・ホンジンガーが久々に

新潟に帰ってきて、仲間たちと演奏する。

奇妙で、不可思議で、可笑しみが漂う

その空間をご満喫ください。

砂丘館と「SAN」で公演・3演日あり・詳細裏面

2023	<b>6</b>	<b>21</b>	<b>23</b>	<b>24</b>	<b>25</b>
		18:30	18:30	18:00	13:30 18:00
		上古町の百年長屋 SAN	砂丘館		



写真: 風間忠雄



写真: 風間忠雄

写真: 風間忠雄



演目  
1

# トリスタン・ホンジンガー 堀川久子デュオ

6/21(水) | 2,500円(ドリンク付):定員25名  
18:30 会場:上古町の百年長屋 SAN

チェロ:トリスタン・ホンジンガー / 踊り:堀川久子  
新潟市中央区古町通3番町653

\*「古町」「東中通」「市役所前」バス停から徒歩10分  
\*野外から始まりますので、受付をすませてSANの前にご集合ください。

■予約(SAN):tel.025-378-0593/san.furumachi@gmail.com  
メールの場合は参加人数、連絡先(電話番号)を併記してください。  
※SAN営業時間/10:00~18:00(火曜定休)



写真: 風間忠雄

演目  
2

# 音楽家たちの二晩

6/23(金) | 25(日)  
18:30 18:00

チェロ:トリスタン・ホンジンガー  
サクソ 他:鈴木正美 / チェロ:西村優輝  
コントラバス:羽生英一(23日のみ) / 踊り:堀川久子

演目  
3

# 文弥人形との二日間

6/24(土) | 25(日)  
18:00 13:30

文弥人形:西橋八郎兵衛  
チェロ:トリスタン・ホンジンガー / 踊り:堀川久子  
(演目2・3共に)  
3,000円 高大生2,000円(2回目から500円引):定員25名

会場:砂丘館 新潟市中央区西大畑町521-1  
\*浜浦町線または観光循環バス「西大畑坂上」バス停徒歩1分  
\*新潟市西堀地下駐車場ご利用の場合、駐車券提示で1時間無料券進呈

■予約(砂丘館):tel.025-222-2676/yoyaku@bz04.plala.or.jp  
FAX・メールの場合は参加人数、連絡先(電話番号)を併記してください。



写真: 風間忠雄

## Tristan Honsinger

(トリスタン ホンジンガー)

チェロ奏者、作曲家

1949年アメリカ・バーモント州生まれ。ニューイングランド音楽院などでクラシックを学ぶ。1969年カナダ・モントリオールで即興演奏を始める。1974年ヨーロッパに移住。デレク・ベイリーに出会う。その後、自身の活動のほか、ロンドンのD・ベイリーのCompany、ドイツのGlobe Unity オーケストラ、オランダのICP オーケストラなどに参加。ヨーロッパの即興シーンの最前線で活動してきた。旋律の美しさ、時におもちゃ箱をひっくり返したような楽曲は独特で愉快。1983年に近藤等則の招聘で初来日。1991年に浅川マキプロデュースのアルバム「From the Broken World」を発表。1995年アートキャンプ白州に参加。1988年~1999年ピアニストのセシル・テイラーと共演多数。2010年からベルリンを拠点に活動。演奏家自身が動き話し演じる不条理音楽劇「Hopscotch(石蹴り遊び)」を欧州各地で上演。2013年日本ツアー。2014年日本でのカルテット「The House of Wasps」を結成。2020年ベルリンでの初散文集「Wander and Wonder」を出版。2023年米国で制作した膨大な曲、文章、絵を携えて欧州に戻り活動を再開した。今回、「The House of Wasps」のアルバム制作とライブのために来日。これまで2003年、2005年、2008年、2009年に、新潟市、佐渡市、聖籠町などで公演。



## 西橋八郎兵衛(にしはし はちろべえ)

文弥人形遣い

1948年北海道札幌市生まれ。新潟県佐渡市在住。1970年文弥人形遣い吉田箕助に入門、吉田箕司の芸名で舞台を勤める。1979年文弥を退座し佐渡に移住、文弥人形「大崎座」、後に「真明座」に入室し現在に至る。1995年「猿八座」を旗揚げし、説経節や古浄瑠璃の復活上演や文弥節以外の邦楽、洋楽、朗読、舞踏などと共演。伝統人形芝居の継承と可能性を拓く活動を続けている。ホンジンガーとは2003年、2005年に新潟、佐渡、東京で共演している。



## 鈴木正美(すずき まさみ)

サクソ・クラリネット奏者

1959年生まれ。早稲田大学在学時よりグループ「フリーミュージック・マシーン」でジャズを演奏する。1990年、ロシアの即興演奏グループ「アルハンゲリスク」のリーダー、ウラジミール・レジツキイとの出会いがきっかけで即興演奏を模索し始める。ソロ演奏の他、ガイヴォロンスキイ&ベトローヴァ、レートフ、ストリャール、プリゴフ、スホーチン、河崎純、堀川久子等、音楽だけでなく、詩の朗読や舞踏との共演による即興演奏にも取り組んでいる。



写真: 風間忠雄

## 西村優輝(にしむら ゆうき)

チェロ奏者

1990年生まれ。チェロを渋谷陽子氏(新潟大学ジュニアオーケストラ教室にて)、牧野純子氏に学んだのち、宇野哲之氏に師事。鈴木正美氏と出逢い、即興表現に触れる。新潟大学教育学部芸術環境創造課程音楽表現コース卒業。同大学現代社会文化研究科博士前期課程在籍中。「イタチプロ」所属。「マレーグマチェロ教室」指導員。「ヤマハ大人の音楽教室」講師。



写真: 風間忠雄

## 羽生英一(はにゅう えいち)

コントラバス奏者

1950年佐渡生まれ。1972年頃より新潟大学のジャズバンドグループでベースを弾き始める。1980年頃より新潟を中心にソロ演奏を始め、各地のライブハウスで演奏ツアーを行う。一時期演奏を休止していたが、2010年頃より再開。現在、古典文学や詩の朗読とのコラボレーションなどの活動をつづけている。

\*ご予約でいただいた個人情報はこの催しに関するご連絡以外には使用いたしません。

- 主催:砂丘館(指定管理者:新潟絵屋・新潟ビルサービス特定共同企業体)
- 共催:ワークショップ身体の空 ●協力:後援:原田健一

私たちは砂丘館を応援しています

- 

